令和８年度
二戸市立福岡中学校
学校だより
第１１号

永遠の躍進

発行日　R8．11．4
発行者　校長　中野　善文
二戸市福岡字下川又２２－１
TEL　２３－３３２５

学 校 教 育 目 標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】



繋　創
見事に達成
～三葉祭で感じた想い、学んだことを、今後の力に～

１０月２３・２４日の２日間にわたって開催した三葉祭は、スローガンの通り「**一人一人の想い**」を**言葉**と**音**にのせて多くの人に伝え、「**一人一人が主役**」となる最高の舞台になりました。閉祭式では、それぞれの代表生徒の感想発表が述べられ、感動的なフィナーレを迎えました。一人一人が色々なことを感じ、成長し、次に繋げようとしていることに感激しました。



一番の盛り上がりは、やはり合唱コンクール。今年も各学級それぞれのドラマが、歌声・表情・体全体を通して伝わり感動的でした。合唱文化をさらに磨き、卒業式が最高の舞台になることを期待しています。



展示部門も見ごたえがありました。一人一人の教科作品は、創造力と個性にあふれＡＩでは生み出せないオリジナルの良さがありました。授業で学んだ知識・技能を活用すれば、いろいろなものを生み出し活用できます。授業での学びを大いに活用してほしいと思います。また、「総合的な学習の時間」の展示からは、各学年の体験的・探求的な学習により将来の自分や故郷を見つめ考えを深めている様子が、文化部（美術部・家庭科部）の展示からは、日頃の活動の頑張りとそれぞれの魅力がよく伝わってきました。



ステージ部門の「英語発表」「わたしの主張」は、学校の代表として出場した生徒の「表現力の豊かさ」と「心に伝わるメッセージ」から「伝える力」の本質が伝わってきました。文化部発表では、「県吹奏楽コンクール金賞の吹奏楽部の重厚な演奏」と「未来を救う科学の力をテーマにした演劇仕立ての科学部の発表」が会場を盛り上げました。

最後に、閉祭式の感想発表の最後に述べた田口沙弥さん（３年４組）の発表が印象に残りましたので紹介します。

合唱の取組で一番印象に残っていることがあります。学級で「春に」の歌詞について考える時間があり、その時間の最後に「歌いながら誰に対してどのような思いを伝えたいか」という意見が出ました。

そこで、「一緒に歌っている友達や先生、聞いている全員に思いやりを届けたい」という意見が出ました。この思いやりという言葉は、昨日の開祭式で校長先生がお話ししてくれた「文化は周りを思いやる心で発展する」という言葉に繋がると思います。みなさんは活動の中で、誰かを思いながら歌うことができましたか？そうであれば、福岡中学校の文化を大きく発展させることができたのではないでしょうか。

後輩の皆さん、来年の三葉祭でも思いやりをもって取り組み、文化を大きく発展させてください。

取組を通して得たものを、来週からの学校生活にも生かしていきましょう。

後期生徒会の充実　リーダーを支え全校で考え実践を

会長	副会長	副会長	本部役員	本部役員	本部役員	本部役員	本部役員	本部役員	議長	副議長	応援団長	応援団副団長	応援団副団長	JRC委員長	JRC副委員長	JRC副委員長	生活委員長	学習委員長	保健委員長	図書委員長	給食委員長	報道委員長
下崎　穂乃香	沼井　晃ノ輔	山内　日愛	小笠原　蒼	泉山　結太	近藤　美玖	木村　耀	山鹿　一幸	岡田　夕那	千葉　アマンダ	米田　菜緒	相馬　杏慈	三浦　徳	菅原　虎優	遠藤　偲冬	菅原　來夢	藤原　穂乃美	清水　心深	樋口　愛加莉	堂ケ澤　風亜空	金野　健	欠端　萌依	尻谷　健悟

三葉祭が終わり、３年生から１・２年生に生徒会の中心がバトンタッチされます。後期生徒会をリードする後期役員の２３名の生徒の皆さんを紹介します。

立会演説会では、福岡中学校の目指す姿を熱く訴えました。理想の福岡中学校を築くためには、リーダーを支えるフォロワーの協力・応援が必要です。生徒全員による充実した生徒会活動で「永遠の躍進」が続くことを期待しています。



県の高い壁に挑む　ー 男子テニス・陸上競技・吹奏楽ソロコン ー

県新人大会(前期)が１０月２３・２４日に開催されました。本校からは、男子ソフトテニス部と特設陸上部が出場しました。惜しくも入賞には及びませんでしたが、県の強豪と対戦した経験は大きな財産です。今をどう過ごすか？すでに戦いの火ぶたは切って落とされています。

全日本管打楽器ソロコンテスト北東北大会に、本校から３名の生徒が出場しました。

金賞　長村紀伸（東北大会出場）、　銀賞　板橋　昊祐　・　大瀧　栞

３名とも堂々としたレベルの高い演奏を会場に響かせました。

後期の学校生活に向けて　～ ４つの力・３つの行動 ～

三葉祭を終えて前期生徒会の活動が終了し、間もなく後期の活動へとバトンが受け継がれます。この節目の時期に、改めて確認したいこと、意識してほしいことを全校朝会で話しました。内容は、「将来のなりたい自分・ありたい生き方」を実現するための４つの力、自己を成長させるための３つの行動規範です。

＜将来に向けて育てたい力＞

見つめる力 将来・未来に向かって、自ら進んで学んだり、行動する主体性	**かかわる力** より良い人間関係調整力。相手の立場を理解し協力する力
解決する力 勉強や仕事の課題を発見・分析し、計画的に解決する力	**つなげる力** 学んだことや情報を取捨選択し、次の学びにつなげる力

この４つの力を、授業や行事等の学校生活全体を通して身につけられるように先生方も指導を工夫してくださっています。

＜自己を成長させる３つの行動規範＞

６０年（中野）生きてきて、自分を成長させた行動規範が３つあります。一つは、自ら「あやまる」こと（＝失敗をごまかさない・何ができるか）、次は、自分から「あいさつ」すること（人間関係の基本）、最後は、「ありがとう」（感謝の気持ち）を伝えること。

これらの実行により自分を成長させ、周りからの信頼を得て、多くの人に助けていただきました。すべて小さい頃に教えられたことですが、その大切さを実感したのは 50 歳の頃でした。生徒・保護者の皆さんにも、この３つの行動規範を通してより豊かな未来を築いてほしいと思います。

（自戒の念を込めてもっと早くに気づくべきでした）